

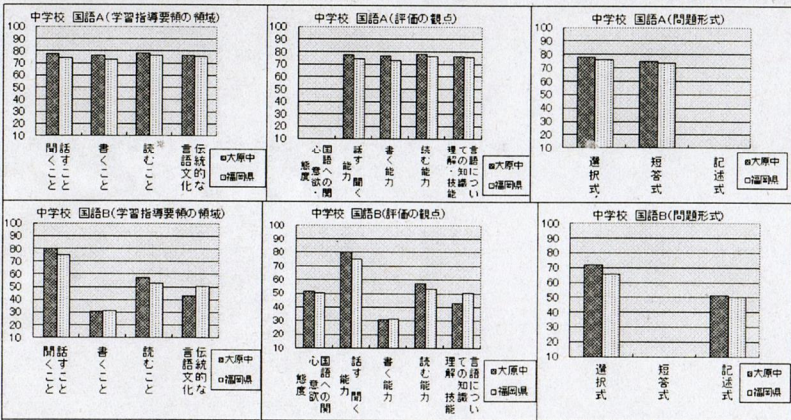


平成30年度 全国学力・学習状況調査・福岡県学力実態調査の結果について

中学3年生を対象に文部科学省が実施しました「全国学力・学習状況調査(国語・数学・理科)」(平成30年4月17日)及び中学1・2年生を対象に福岡県教育委員会が実施しました「福岡県学力実態調査(国語・数学)」(平成30年6月19日)の結果についてお知らせします。それぞれの教科の領域等に関する全体的傾向と課題についてお知らせします。

3年 国語科

国語については、A問題、B問題ともに、全国 県平均を上回っています。また、各領域・観点別の正答率を比較した場合も、A問題、B問題ともに概ね全国・県平均を上回っている状況です。

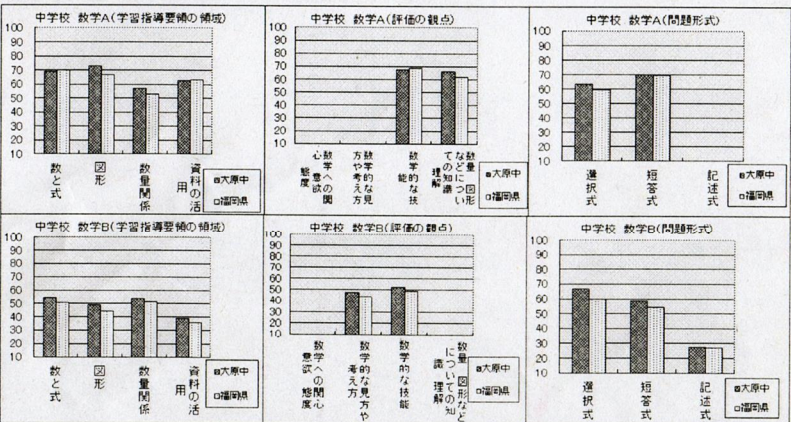


具体的には、A問題では、「書くこと」の領域が、B問題では「聞くこと・話すこと」の領域がよくできています。課題としては、A問題では「言語についての知識・理解・技能」を確かめる設問、B問題では「相

手的に確に伝わるようにあらすじを捉えて書く能力」を確かめる設問において、全国 県平均を下回っており、今後さらにそれらの力が高まるよう取り組んでいきます。

3年 数学科

数学については、A問題、B問題ともに全国・県平均を上回っています。また、「数学の勉強が好き」と答える生徒が、52.9%で、83.7%の生徒が「数学の勉強は大切だ」と考えています。

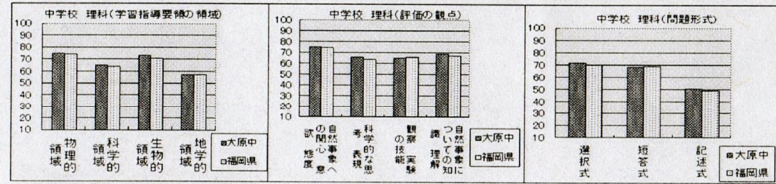


各領域・観点別の正答率を比較した場合も、A問題、B問題ともに概ね全国 県平均を上回っている状況です。しかしながら、A問題

の「数と式」や「資料の活用」の領域において全国 県平均を下回っており、それらの基礎・基本の定着に一層力を入れていきます。

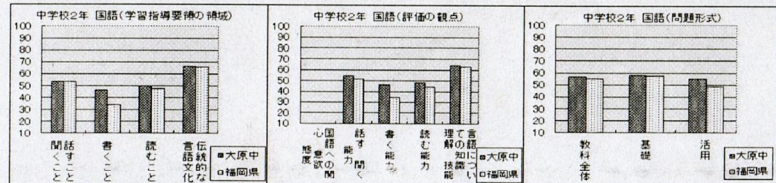
3年 理科

理科については、全国 県平均を上回っています。また、各領域・観点別の正答率を比較した場合も、概ね全国 県平均を上回っている状況です。しかしながら、観察・実験の技能を問う設問においては課題があり、それらの定着を図る授業づくりに努めます。



2年 国語科

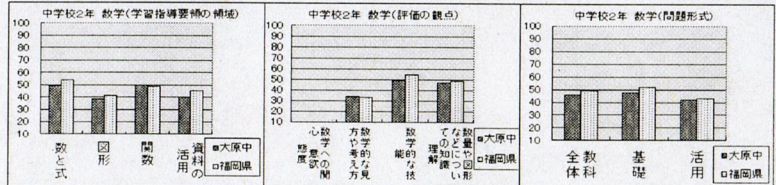
2年生の国語では、県平均を上回っています。「書くこと」の領域が大変よくできる一方で、「歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す」「読み取った情報を根拠として示す」設問に課題があります。



2年生の数学では、

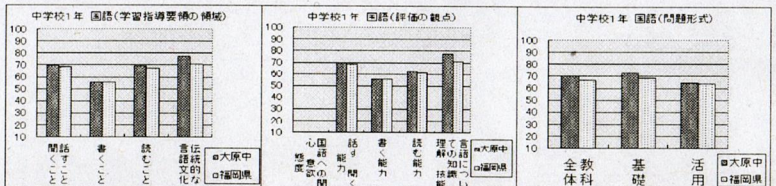
2年 数学科

県平均を下回っており課題です。特に「数と式」「資料と活用」の領域に課題があり、基礎・基本の定着に向け、週末課題等も含め、一層力を入れて取り組んでいきます。



1年 国語科

1年生の国語では、県平均を上回っています。課題としては、「互いの立場や意図をはっきりさせながら話し合うこと」「目的に応じて資料を読み、わかったことを的確に書くこと」の設問があります。今後、さらに、それらの力が高まるよう取り組んでいきます。



1年 数学科

1年生の数学では、県平均を上回っています。課題としては「1km 走るのにかかる時間で速さを比較する」「割合」を確かめる設問があり、定着に向け一層取り組んでいきます。

